

# 12/2 議会広報の 研修会へ参加



県町村議長会主催による議会広報委員を対象にした研修会が自治会館で行われ、議会広報発行の意義と編集技術として、記事の書き方やスペースのとり方等、各町村議会だよりのクリニックを受けながらの研修に6名の全委員が参加しました。

「議会広報の発行の意義と  
編集技術について」

講師 保坂政和 氏  
(広報評論家)

**北欧視察研修**

10/1 ~ 10/10

県町村議長会主催の北欧における高齢者福祉及び環境先進国の歴史、文化、風俗をはじめ、廃棄物処理、ごみ処理の諸問題、環境にやさしいまちづくり、自治体合併問題等についての視察研修に議長に代わって前里副議長が参加しました。報告書の一部を掲載します。

### イギリスにおける研修

ロンドンの老人ホームでは常駐の医師はおらず、看護、介護のスタッフのみである。病気の時は主治医が往診する。入居費は一人につき週約十一万二千円かかるが、ほとんど市町村が払う。自己負担能力のある方は自分で払う。ロンドンでは入居待機老人が多くて問題になっている。

### デンマークにおける研修

ネスドベス市のESファサン社を訪ねた。同社は十三の地方公共団体で設立した公社だ。ごみ処理については短期計画(四年)と長期計画(十二年)がある。全体のごみ量の五十一%が再利用されている。市民の間にごみは資源との意識が強い。

### フランスのメルン市

フランスでは市町村合併を推進したが自治権が消滅する合併ではなく、自治を残して自治体が協力する『自治体協力』と言う形で運営されている。メルン市を中心とする自治体協力は十二の市町村で構成され、人口の少ない所は一四三人、多い所は三万八千人、全体で十五万人である。首長も助役も議員の中から選ぶ。



### 編集後記

待望の町民図書館の建設も10月のオープンをめざして着々と進み、建物本体が姿を見せています。文教のまち西原にふさわしい図書館の一日も早い完成を待ちわびるのは町民共通の願いだと思います。三位一体の改革により、地方交付税が大幅にカットされて、沖縄県内はもとより全国の地方自治体が新年度の予算編成に四苦八苦しています。今後もこの状況は続くと思われ、再度行政運営のあり方を見直す必要があると思います。

仲宗根